

サカハチチョウかアカタテハか

6月に入った頃、コアカソの葉を柏餅のように丸めた葉を庭で見つけた。「サカハチチョウ」の巣か「アカタテハ」の巣か？と思って失礼は承知でそっと開いてみる。と、住人は期待はずれ(失礼)のアカタテハであった。もっともサカハチチョウは葉の中に潜っていないで立派な棘を見せびらかすように、歩き回ることが多いが、「もしかすると??」と気持ちの高ぶる一瞬である。

このアカタテハの幼虫は住处となっている葉を無心に食べている。それでも羽化まで観察をしようと思い見守っていると、幼虫は数枚の葉を使った巣へと規模を拡大しながら移動を繰り返して、5番目の新居に移った6月18日の朝に忽然と姿を消してしまった。どこかで蛹化したのであろう。



コアカソで作ったアカタテハの巣

【コアカソに付いたアカタテハの幼虫とサカハチチョウの幼虫】



アカタテハの幼虫



サカハチチョウの幼虫

ところで、今年は春型からサカハチチョウを多く見かけたので(去年は少なかった)楽しみにしていたのだが、夏型のサカハチチョウ初見は6月20日となり、その後もよく見かけるようになった。

家から少し山側に入るとイラクサが生えている。イラクサもサカハチチョウの食草となるが、この草は下



手に触れると棘が刺さってハチに刺されたような痛みがあるのでうかつに手を出せない。7月に入って、そのイラクサに巣を見つけたが、手を出せないことと、あまり行かないのでこれもサカハチチョウかアカタテハか分からずじまいとなった。

【イラクサの棘】

左の写真のように棘が茎全体に生えている。実は棘のように硬くはないので棘毛というそうだが、中が中空になっていて注射針のように傷みの成分??を出すそうである。

以前に溪流釣をしていたとき、私自身が体験した保証月の痛さでハチに刺されたのかと思ったほどである。



7月4日、朝までの雨が上がった庭にサカハチチョウがいる。先日に巣から抜け出したものではないと思うがばかに馴れ馴れしい。それこそ足元に来て止まったりしているのできれいな写真が撮れるかとカメラを持ち出してみた。カメラを構えると私の方を向いてしまい体全体のピントが合わない。そうと後ろに廻るとまた私の方を向いてしまうのだ。サカハチチョウは数が少ないためもあるだろうがいつも1人遊びである。それならば私が遊んでやろうと誘うと乗ってきた。



